

5.3 目標3 自転車を活用した観光・賑わいづくり

施策10. サイクルツーリズムの推進

自転車を活用した観光振興である「サイクルツーリズム」を推進するため、「福岡県サイクルツーリズム推進協議会」と連携し、広域モデルルート of 整備やサイクリストの受入環境の整備、情報発信に取り組みます。

また、ロングライド向けの広域モデルルート以外にも、気軽に観光地を「ポタリング※」するルートなどを設定し、様々なスタイルでサイクリングが楽しめる環境づくりを推進します。

※ 散歩をするように、気軽にゆっくりと自転車で散策することを意味する和製英語。

- ① 福岡・糸島ルート : 約78km
- ② 直方・宗像・志賀島ルート : 約90km
- ③ あさくら・大刀洗周遊ルート : 約73km
- ④ 久留米・うきは周遊ルート : 約77km
- ⑤ 北九州(門司)・京築ルート : 約89km
- ⑥ 北九州(門司)・芦屋ルート : 約44km
- ⑦ 筑後周遊ルート : 約55km
- ⑧ 豊前・東峰ルート : 約61km
- ⑨ 那珂川・大牟田ルート : 約86km
- ⑩ 直方・嘉麻・筑豊周遊ルート : 約110km

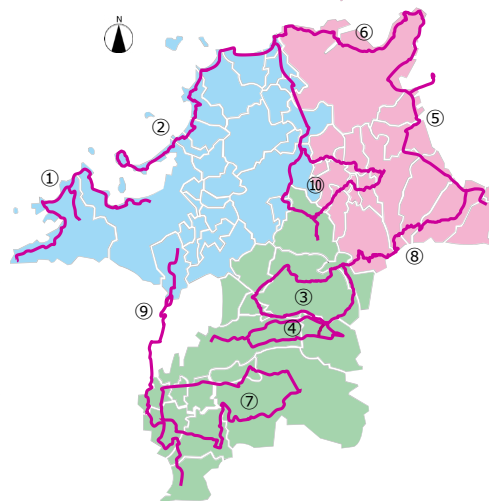


図 福岡県サイクルツーリズム広域モデルルート(10ルート)

資料：福岡県



図 道原・河内サイクリングロード

資料：北九州市道路維持課

(1) 広域モデルルートの整備

広域モデルルートの案内表示の設置や安全対策を実施します。

〈しまなみ海道サイクリングロードの整備事例〉

- ・ 車道の路側に推奨ルートを明示するブルーラインと路面表示を整備
- ・ 歩道幅員を再配分し路肩を拡幅
- ・ 主要交差点に矢羽根を設置



資料：国土交通省_GOOD CYCLE JAPAN

(2) サイクリストの受入環境の整備

トイレが利用できる施設などに、サイクルスタンドや空気入れなどを設置することで、サイクリストが気軽に休憩できるサイクルステーションを整備します。

<北九州空港のサイクルステーション>



資料：北九州エアターミナル(株)

(3) 情報発信

「スマートサイクリライフ北九州」などを活用し、市内のイベント、観光スポット、グルメといった観光情報やこれらを自転車で巡るおすすめサイクリングルートについて情報発信を行います。

<門司港駅>



<若戸大橋>



<小倉城>



<わっしょい百万夏まつり>



<焼きカレー>



資料：北九州市観光課

施策11. シェアサイクル事業の推進【再掲】

市民アンケート調査によると、シェアサイクルを利用したいと答えた方の利用目的は、「観光・レジャー」が約66%と最も多くなっており、観光利用でのニーズが高いことがうかがえます。

これを踏まえ、観光ニーズに応じたシェアサイクルステーションの配置を検討するなど、周遊観光の促進に向けた取り組みを推進します。

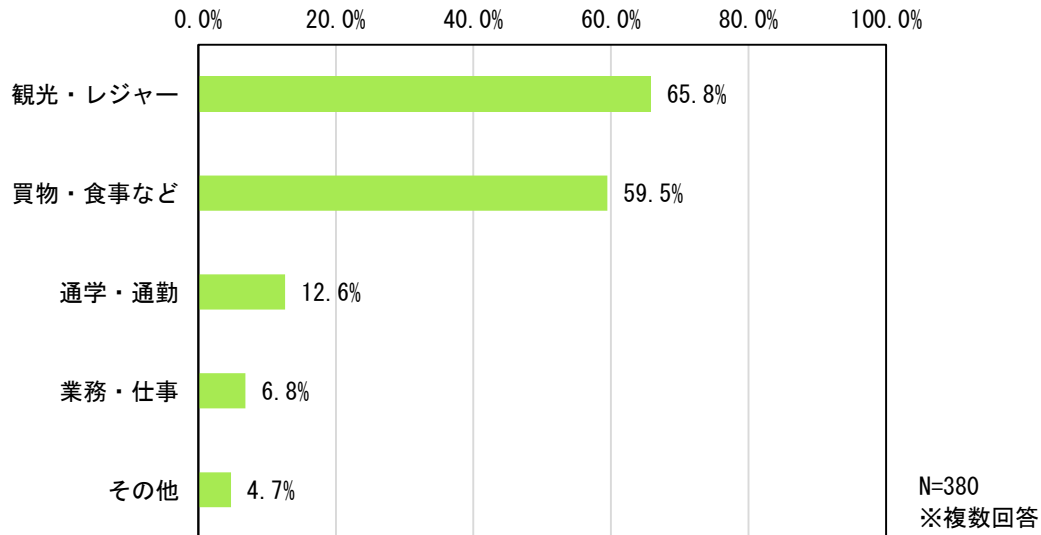


図 シェアサイクルを利用したい方の利用目的

資料：市民アンケート（R2.3）

また、観光地の回遊性を向上させるために、レンタサイクルも活用していきます。